

8月のできごと

街のアルバム



甲子神社祭典
(八月七日～八日)



サッカーを好きな気持ちは同じ 「日韓交流サッカー大会」

8月3日 「日韓の民間交流は、子どもたちの交流から」と、静岡県富士日韓協会によって企画された「第1回日韓交流サッカー大会」が、富士総合運動公園陸上競技場で行われました。韓国の中学生サッカーチームと富士市・富士宮市の中学選抜チームの親善試合では、2年前の日韓共催のワールドカップさながらの熱戦が展開されました。両国の若者たちがともに汗を流し、さわやかな交流の場となりました。



ふれあいから学ぶ優しさ 「1日ナース体験事業」

8月3日 市立中央病院で、看護師を目指す高校生を対象とした「1日ナース体験事業」が行われ、市内外から41人が参加しました。看護師姿の高校生たちは、実習で入院中の患者さんの部屋を訪れ、「体調はどうですか？」などと言葉を交わしました。真剣な中にも優しい笑顔で語りかけ、実際に患者さんに接することで、看護の大切さ、コミュニケーションの大切さを学んだようでした。



音楽って楽しいね！ 「子どものためのコンサート」

8月5日 小さな子どもたちに、生の演奏に親しんでもらおうと、「子どものためのコンサート」がロゼシアターで行われました。富士クラシック協会の皆さんが出演し、子どもたちが好きな動物にちなんだ曲を演奏しました。歌に合わせて手を動かすコーナーでは、観客も一緒に「アイアイ」。初めて生の音楽にふれた子どもたちは、目をきらきらさせて、楽しそうに聞き入っていました。



大人顔負けの熱い討論 「富士市青少年会議」

8月3日 「みずから考えよう、明日への生き方を」をテーマに、「富士市青少年会議」がロゼシアターで行われ、市内39の小中学校の代表18人がパネリストとして参加しました。パネリストたちは、言葉の持つ意味や力について、日ごろの体験談を交えながら活発な議論を展開。ステージ上だけでなく、会場に訪れた子どもや大人も、テーマについて真剣に考える会議となりました。